

令和6年度 後期 ビジネス・キャリア検定試験

経営情報システム分野

2級 経営情報システム（情報化活用）

試験問題

(17 ページ)

1. 試験時間 110 分

2. 注意事項

- (1) 試験問題は、係員の指示があるまで開かないでください。
- (2) 表紙に記載されている試験区分名が、申請している試験区分名と同じか確認してください。申請している試験区分と異なる試験区分を受験した場合は採点できず、不合格となりますので、ご注意ください。なお、試験開始後に申し出られても、試験時間の延長はできません。
- (3) 試験問題は、40題あります。
- (4) 試験問題の配点及び合格基準は、次のとおりです。
(配 点) 問題1～問題40 各2.5点 合計100点
(合格基準) 試験全体として概ね60%以上の正答。
- (5) 関係法令、会計基準、J I S等の各種規格等に基づく出題については、問題文中に断りがある場合を除き、令和6年11月1日時点で施行されている内容に基づくものとします。
- (6) マークシートの詳しい書き方は最終ページに記載しています。
- (7) マークシートにマークする際には、HB又はBの黒鉛筆で、はっきりとマークしてください。それ以外は使用しないでください。なお、訂正する場合は、採点の際にマークシートの誤読の原因となることがありますので、きれいに消してください。
- (8) 計算等が必要な場合は、問題用紙の余白を使用してください。
- (9) 問題番号及び問題文に従って正解と思われるものを1つだけ選んで間違えないようにマークしてください。
- (10) 試験問題の内容に関する質問には、一切お答えできません。
- (11) 試験中にトイレへ行きたくなった場合は、黙って手を挙げて係員の指示に従ってください。
- (12) 試験終了時刻前に解答が済み、退出する場合は、黙って手を挙げて係員の指示に従ってください。ただし、試験開始後30分間及び終了前10分間は、退出できません。なお、退出する場合は、周りの受験者に配慮して、静かに退出してください。
- (13) 試験終了の合図があったら速やかに筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。
- (14) 試験終了後、マークシートを必ず提出してください。ただし、試験問題は、持ち帰ることができます。
なお、マークシートが提出されていない場合は、失格となります。
- (15) カンニング行為（他の受験者の答案等を見ること・他の受験者に答えを教えること・他者から答えを教えること・指定されたもの以外のものを机上に置くこと等）、替え玉受験、不正行為と疑われるような紛らわしい態度をとる行為、他の受験者の迷惑となる行為、係員の指示に従わない場合などは、不正行為とみなされます。不正行為とみなされた場合は、直ちに退場となり、当該期に受験する試験区分のすべてが失格となります。
- (16) 試験問題の転載、複製などを固く禁じます。

問題 1 運用工程に関する記述として最も適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 運用設計は、情報システムの開発工程終了後に速やかに着手することが必要である。
- イ. 運用工程におけるサービスレベル管理の目的は、他社より高いサービス品質を実現することである。
- ウ. 運用工程の監査は、監査対象の情報システムを熟知した開発部門や開発を委託した企業が行うことが望ましい。
- エ. 開発工程だけでなく、運用工程においても設計・構築・テストのプロセスは必要である。
- オ. 運用工程では、個々の使用者からの指示に従い、臨機応変に運用管理の手順を変更していくことが必要である。

問題 2 パブリッククラウドで提供される SaaS の利用に関する記述として最も適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 利用企業による個々の使用者の管理は不要である。
- イ. 利用に当たって、利用企業による業務フローや作業手順の確認・見直しは不要である。
- ウ. サービスレベルの達成状況はサービス提供者側の管理事項であり、利用企業による確認は不要である。
- エ. 利用契約に記載するサービスレベルは、業務ニーズに応じて利用企業が設定することが必要である。
- オ. サービス提供者だけでなく、利用企業によるセキュリティリスクの評価とセキュリティ対策も必要である。

問題 3 ITIL 4 のマネジメント・プラクティスに関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア. サービスデザインの目的は、組織がその業務を遂行する上で必要となるサービスマネジメントを設計することである。
- イ. 問題管理の目的は、可能な限り迅速にサービスを回復し、インシデントの影響を最小限に抑えることである。
- ウ. ポートフォリオ管理の目的のひとつは、サービスだけでなくサービス以外のプログラム、プロジェクト、製品も組み合わせて、資金とリソースの制約のもとで、戦略を確実に実行できるようにすることである。
- エ. 展開管理の目的は、提供されている IT サービスの妥当性を測定し、改善につなげるための PDCA サイクルを回すことである。
- オ. 継続的改善の目的は、災害や事故などの非常時に、SLA で合意された時間内に IT サービスを復旧することである。

問題 4 複数の業務システムの処理を管理する運用スケジュールに関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

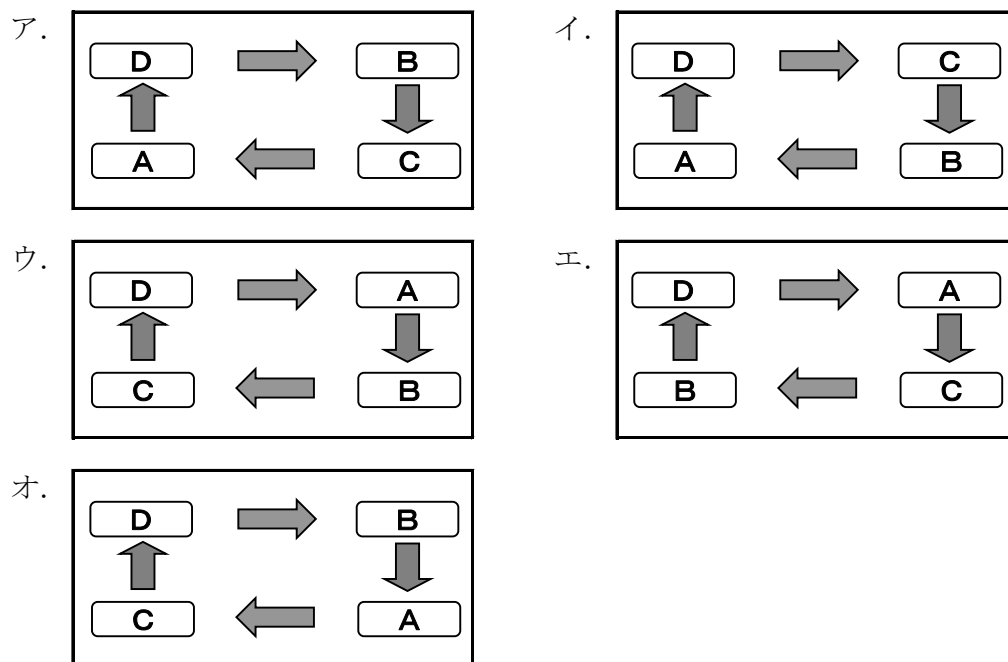
- ア．運用スケジュールの作成は、基本的に年次処理・月次処理のスケジュールを作成し、日次の処理スケジュールに詳細化していく。
- イ．多くの処理や複雑な条件を含んだスケジュールを正確に運行するためには運用管理ツールの活用が有効である。
- ウ．臨時処理は、あらかじめ定めた処理依頼の受付手順に従い、利用部門の責任者により承認された作業依頼を受け、運用部門の責任者が承認した後に作業スケジュールに組み込む。
- エ．運用管理者は、運用スケジュールやオペレーション指示書と、処理実施記録の差異分析を実施する。
- オ．定期処理に遅延が発生しないように、各業務部門が作成し届け出た運用スケジュールに従い実行する。

問題5 以下の＜作業項目＞について、キャパシティ管理のサイクルとして適切なものは、次のうちどれか。

＜作業項目＞

次のA～Dは、ある情報システムのキャパシティ管理に関する作業項目である。

- A. 変更管理プロセス等に基づいて、対応策を実装する。
- B. サーバーのシステムリソース、主要トランザクション応答時間の増加傾向等を分析する。
- C. サーバーのリソース追加等によるチューニング策を作成する。
- D. サーバーのCPU、メモリ、ディスク領域等の使用率、システムへのアクセス数、主要トランザクション応答時間等を監視する。



問題6 イベント管理におけるイベントに関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア. サーバーの計画停止は、異常終了した場合はイベントとなるが、計画どおりに完了した場合にはイベントにはならない。
- イ. サーバーの異常停止はイベントであり対応が必要だが、ログを監視するだけでは検知できないことがある。
- ウ. プリンタのトナー切れは、機器の異常ではないのでイベントではない。
- エ. ユーザーのアプリケーションへのログインは、単なる情報でありイベントではない。
- オ. バッチ処理の正常終了は、終了結果に対して対応を必要としないためイベントではない。

問題 7 以下の＜説明＞の（ ① ）～（ ③ ）に当てはまる語句の組合せとして適切なものは、次のうちどれか。

＜説明＞

I T サービスを利用するためのシステム環境である「オンプレミス」、「プライベートクラウド（ホステッド型）」及び「パブリッククラウド」には、費用について次のような特徴がある。

- ・（ ① ）では機器等の準備が必要なため、初期費用が他の方式と比べて高くなる。
- ・（ ② ）は初期費用は不要若しくは少額で済むが、利用量や時間に応じて利用料が変動するため予算が立てにくい。
- ・（ ③ ）では機器等の準備が不要であり、（ ① ）に比べて初期費用を抑制できるが、初期費用や保守費用が必要となる場合もある。

	①	②	③
ア.	オンプレミス	プライベートクラウド (ホステッド型)	パブリッククラウド
イ.	パブリッククラウド	プライベートクラウド (ホステッド型)	オンプレミス
ウ.	プライベートクラウド (ホステッド型)	オンプレミス	パブリッククラウド
エ.	プライベートクラウド (ホステッド型)	パブリッククラウド	オンプレミス
オ.	オンプレミス	パブリッククラウド	プライベートクラウド (ホステッド型)

問題 8 A 社は、自社で開発した情報システムの運用業務を B 社に委託している。情報システムの安定した運用を目指す観点から、B 社からの毎月の運用業務報告書に盛り込むべき項目として最も不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. S L A 項目ごとの報告月の達成度
- イ. 情報システムのインシデントの発生状況
- ウ. I T インフラのキャパシティやパフォーマンスの状況並びに想定されるリスクとその対策案
- エ. 運用改善に関する提言
- オ. プログラムのバグの発生状況と修正方法

問題9 次の＜事例＞のa～dについて、「個人情報の保護に関する法律」に照らして個人情報保護委員会への報告が必要な事例に該当するものだけを全て挙げたのは、ア～オのうちどれか。

＜事例＞

- a. 2千人分の個人データを高度な暗号化で秘匿化し記録したUSBメモリを紛失した。
- b. ECサイトから不正アクセスにより個人データが窃取された痕跡が発見された。
- c. ランサムウェアにより個人データが暗号化され、復元できなくなった。
- d. 従業員2人分の定期健康診断結果を暗号化せず記録したUSBメモリを紛失した。

- ア. a、b、c
- イ. a、b、d
- ウ. a、c、d
- エ. b、c、d
- オ. b、d

問題10 以下の＜事例＞に基づき、サービスデスクでの作業品質向上対策として最も不適切なものは、次のうちどれか。

＜事例＞

A社では、社内情報システムに関する利用者からの依頼や相談、トラブルの報告を、サービスデスクにおいて電話やメールで受け付けている。サービスデスクでは、受付時間は営業時間内とし、情報システムごとに専用連絡先と専任の受付担当者を決め、業務担当者（システム利用者）からの連絡に対応している。

業務部門では、年に複数回、短期雇用者を含め従業員の採用を行っている。入社の際には、PCや表計算ソフト、文書作成ソフト等の基本的な使い方に関するサポートデスクへの問い合わせが、特定の担当者に集中することで、対応の遅延や漏れ等のミスが多発し、利用者からの不満が高くなる。

- ア. PCやオフィスソフトの利用方法などのITリテラシー研修を、入社時に行う。
- イ. 利用者からの問い合わせ等の受付時間を延長する。
- ウ. 利用者からの問い合わせ・回答をFAQとしてまとめ、利用者に公開・周知する。
- エ. 利用者からの一次受付の連絡先を単一の連絡先にし、複数人で一次対応に当たる。
- オ. AIやRPAを活用して利用者からのメールの受付、記録や手続き等の自動化を行う。

問題11 以下の＜事例＞において、保守契約に基づき、保守委託先であるX社に追加費用なしで依頼できる作業として適切なものは、次のうちどれか。

＜事例＞

A社では、グループウェアを稼働させるサーバーについて、X社と以下の保守仕様書の内容で保守契約を結び、作業を委託している。

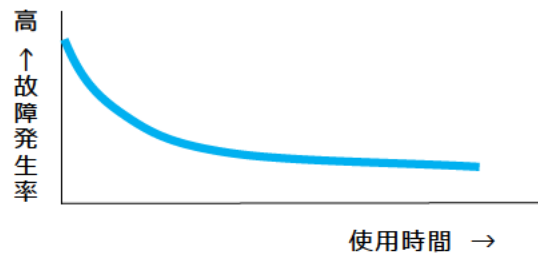
（保守仕様書）

- | | |
|---------------|---|
| 1 契約期間 | : 2024年4月1日～2025年3月31日 |
| 2 保守対応時間 | 障害受付からオンサイト対応着手までの時間
原則、当日4時間以内 |
| 3 保守対象機器の設置場所 | : A社本社サーバー室 |
| 4 保守サービスの内容 | ①機器障害対応
対象のハードウェア障害発生時に、機器設置場所において障害の切り分け作業及び部品交換等を実施し、機器を正常に稼働する状態にする。
②OS運用支援
対象機器のOSについて、電話及び電子メール等による技術に関する問い合わせ対応を行う。OSの障害発生時は、必要に応じて機器設置場所において障害対応を行う。 |
| 5 保守対象機器 | : グループウェア用サーバー機一式 |
| 6 その他 | ・ 契約金額に交換部品の代金を含む。ただし、バッテリー等の消耗品は有償対応とする。
・ 契約金額にはハードディスクドライブ故障時の交換代金を含む。交換代金には、故障したハードディスクドライブのホワイトニング又は破壊、引取りの費用を含む。 |

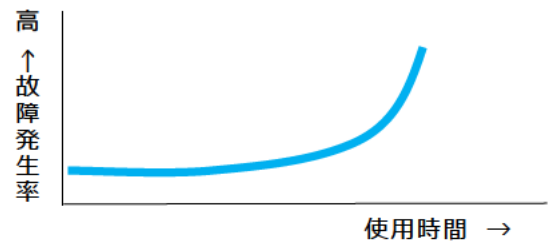
- ア. 当該サーバーのハードディスクドライブが故障した場合に、ハードディスクドライブを修理・交換し、バックアップよりデータを回復させるようX社に依頼する。
- イ. UPSのバッテリーが消耗している旨のエラーがログに記録された場合に、UPSのバッテリーを用意させ、交換するようX社に依頼する。
- ウ. 当該サーバーで稼働するグループウェアソフトが利用できなくなり、通常と違うOSのメッセージがログに記録されていた場合に、ハードウェア及びOSに不具合は無いか調査をX社に依頼する。
- エ. 当該サーバーにグループウェアソフトのエラーメッセージが記録され、接続しているクライアントからグループウェアが利用できなくなった場合に、本社サーバー室にて保守員に原因を調査させ、必要な対応を示すようX社に依頼する。
- オ. 当該サーバーの電源が原因不明で停止した場合に、本社サーバー室にて保守員に原因を調査させ、4時間以内に使用できるよう修理をX社に依頼する。

問題12 情報システムで使用するハードウェアについて、使用時間と故障発生率の一般的な関係を示すグラフは、次のうちどれか。

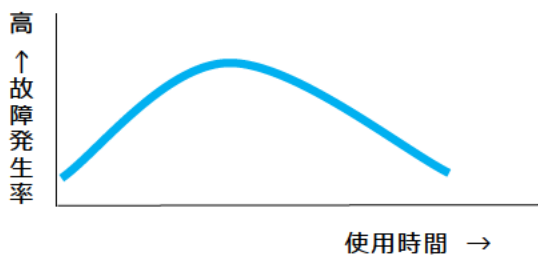
ア.



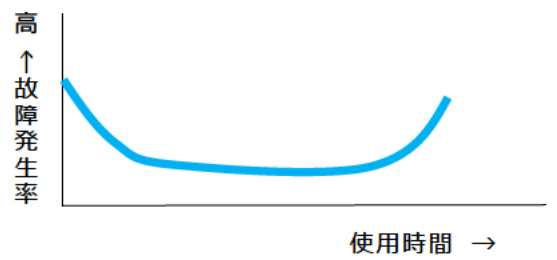
イ.



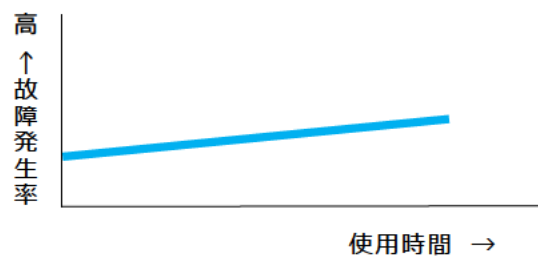
ウ.



エ.



オ.



問題13 個人情報保護法（個人情報の保護に関する法律）に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．本法律で規定される個人情報取扱事業者は、本人から当該個人情報の開示請求があった場合には対応する必要があるが、第三者の権利利益を害するおそれがある場合は開示しなくてもよい。
- イ．「個人情報」とは、生存する個人に関する情報であることから、死者に関する情報は、生存する遺族の情報を含まない限り、本法律の対象とはならない。
- ウ．「個人情報データベース等」とは、電子計算機を用いて特定の個人情報を検索できるように体系的に構成されたもののことをいい、電磁的記録以外の方法で記録されたものは、本法律の対象とはならない。
- エ．個人情報取扱事業者は、原則として本人の同意なしに本人以外の者に個人データを提供することは禁止されているが、委託や事業承継によるものは、第三者提供に該当しない。
- オ．「保有個人データ」とは、個人情報取扱事業者が開示等の権限を有する個人データのことであるが、その存否が明らかになることにより、公益その他の利益が害されるものは含まれない。

問題14 2019年12月に施行されたデジタル手続法（情報通信技術を活用した行政の推進等に関する法律）では、その原則として、①デジタルファースト、②ワンスオンリー、③コネクテッド・ワンストップ、の三つの原則（デジタル3原則）を明記している。デジタル手続法及びそれに関連する施策についての記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア．この施策は行政のデジタル化を推進するためのものであり、マイナンバーカードがベースとなるため、住民票を持たない国外在住者は対象外である。
- イ．「デジタルファースト」とは、行政機関における事務や手続きにおいてデジタル化を推進するため、アナログでの処理を廃止するよう各法律を整備することである。
- ウ．「ワンスオンリー」とは、情報保護の観点から、一度提出した情報を、他に流用することを禁止することである。
- エ．「コネクテッド・ワンストップ」とは、民間サービスを含め、複数の手続き・サービスをワンストップで実現することである。
- オ．デジタル手続法では、情報通信技術の利用のための能力等の格差、いわゆる「デジタル・デバイド」についての配慮がないため、今後の課題となっている。

問題15 音声、画像、動画等のマルチメディアの圧縮に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．記録メディアの容量単価が劇的に低下したことにより、音声や動画は、圧縮しない形式で利用するのが一般的となった。
- イ．不可逆圧縮は、人間の視聴覚の特性を利用して、品質の劣化を感じさせない程度に元データを間引く方法で、劇的に圧縮率を高めるが、復元しても元どおりには戻らない。
- ウ．BMPは、Windowsが標準でサポートしている画像ファイルで、フルカラーを指定すると画像は圧縮されずに保存される。
- エ．PCMは、音声をデジタル化するための方式で、無圧縮で記録するため音質は損なわれないが、容量が大きくなるという特徴がある。
- オ．JPEGは、フルカラー対応の画像ファイルで、利用者が圧縮率を指定できる。

問題16 API (Application Programming Interface) に関する記述として最も適切なものは、次のうちどれか。

- ア．オペレーティングシステムとアプリケーションソフトの中間的な処理・動作を行うソフトウェアのことである。
- イ．人間の書いたソースコードと、コンピュータが実行できるネイティブコードの、中間的な性質を持ったコード形式のことである。
- ウ．ある程度汎用性のある機能拡張を実現するような、ひとまとまりの関数群やオブジェクト群及びそれらの仕様のことである。
- エ．アプリケーションソフトでよく用いる操作手順をセットにして登録しておき、任意に呼び出して実行させることができる機能のことである。
- オ．コンピュータが利用者に対して情報を表示する方式や、逆に、利用者が情報を入力するための方式を定めたものである。

問題17 検索エンジンに関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア．ディレクトリ型エンジンでは、ノイズがロボット型と比べて多くなる。
- イ．ディレクトリ型エンジンでは、自動的に情報を収集してデータベース化する。
- ウ．情報を人間が精査するディレクトリ型エンジンでは、内容が最新となる。
- エ．ロボット型検索エンジンでは、検索結果が上書きされ消滅していく傾向がある。
- オ．ロボット型検索エンジンでは、広範囲に最新の情報を検索できる。

問題18 電子メールの利用に際し、セキュリティ対策を視野に入れた社内運用規定を制定する場合、その内容として最も不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．業務用の電子メールアカウントの私的利用については、利用に関する規定を設けて周知徹底を行うとともに、モニタリングや上司のアカウントへの同報発信によるチェックも実施する。
- イ．使用禁止文字等の電子メールに使用する文字を規定する。
- ウ．対外的なアピール向上をねらい、社名ロゴ、カラーの文字等が利用できるHTML形式を標準書式とする。
- エ．ウイルス対策及びセキュリティ対策を考慮し、電子メールソフトの環境設定内容を指定する。
- オ．送信するメッセージ及び添付ファイルの容量が過大とならないように、容量制限を規定する。

問題19 ソーシャルメディアに関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．メッセージングサービスもソーシャルメディアのひとつである。
- イ．SNSには会員制と招待制があるが、会員制のものは、ソーシャルメディアではない。
- ウ．ソーシャルメディアの活用方法のひとつとして、口コミなどを活用したバイラルマーケティングがある。
- エ．クラウドファンディングは、ソーシャルメディアの活用のひとつである。
- オ．YouTubeなどの動画共有サイトも、ソーシャルメディアのひとつである。

問題20 グループウェア導入による影響に関する記述として最も適切なものは、次のうちどれか。

- ア．決裁スピードが低下する。
- イ．書類ファイルの厳密なバージョン管理ができる。
- ウ．会議室の予約スケジュール調整が複雑になる。
- エ．規程の紙での配付がなくなり最新版の共有が可能となる。
- オ．社外からの接続ができなくなるためセキュリティが向上する。

問題21 EC (Electronic Commerce) に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア．ECの成立条件は、インターネットでの取引に限定される。
- イ．オークションサイトの個人同士の取引は、B to Cに分類される。
- ウ．行政と住民間で行われるやり取りもG to CとしてECに含まれる。
- エ．EOSやSCMにおける規約の個別化によって、効率性が向上する。
- オ．ECへの参入は、多額の費用がかかるため小規模の企業では難しい。

問題22 一般的な文書作成ソフトに関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．複数の宛先に送付する文書の印刷には、差し込み印刷を使うと効率的である。
- イ．HTML形式で保存することによって、Webページを作成できる。
- ウ．RTF形式に出力した際に、画像データは保持されない。
- エ．CSV形式のテキストデータを、文書内で表に変換することができる。
- オ．変更履歴とコメントは、削除することができる。

問題23 表計算ソフトの利用に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア．データベースに接続して処理を行えない。
- イ．大量のデータを扱う場合、RDBと比べて高速に処理できない。
- ウ．クロス集計ができない。
- エ．複数の利用者が同時に編集作業を行えない。
- オ．Pythonから制御できない。

問題24 統計分析に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア．等分散性がない販売金額のデータにはt検定が適している。
- イ．集団が3つ以上の場合にはt検定をそれぞれの集団に対して行う。
- ウ．市場調査として社員5人からアンケートを取れば説明可能なデータになる。
- エ．標本数が多くなると有意差が出にくくなる。
- オ．表計算ソフトでも基本的な統計分析は行える。

問題25 以下の＜事例＞に基づき、①、②、③の3種類の指標に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

＜事例＞

POSシステムから得られたデータを用いてショッピングバスケット分析を実施した結果、商品Aを購入した顧客が同時に商品Bを購入する傾向が顕著である事実が確認された。

この分析には、

- ①商品Aを購入した顧客が商品Bを購入する結びつきの強さを示す「信頼度」、
- ②商品A、Bが同時に購入される出現率を示す「支持度」、
- ③商品Aに対する商品Bの結びつきが、マーケティング戦略上、意味ある関連か否かを判断する「リフト値」

の3種類の指標が使用された。

- ア. 商品Aを購入した顧客が商品Bを購入する結びつきの信頼度は、「商品A、B両方を購入した顧客数÷商品Aを購入した顧客数」の算式で求められる。
- イ. 商品A、Bが同時に購入される支持度は、「商品A、B両方を購入した顧客数÷全顧客数」の算式で求められる。
- ウ. 信頼度は高いが支持度が低い組合せは、商品間の関連は認められるが、実際に購入される頻度が低く、一般的にはマーケティング戦略上の重要度は低い。
- エ. 商品Bの商品Aに対するリフト値は、「(商品A、B両方を購入した顧客数÷商品Aを購入した顧客数)÷(商品Aを購入した顧客数÷全顧客数)」の算式で求められる。
- オ. リフト値が大きい場合は商品A、B間の関連が強く、低い場合は商品単独での購入行動となる。

問題26 情報システムを評価する視点のひとつに有効性の視点がある。有効性の視点に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 情報システムが経営目的・経営目標にどれだけ合致しているかを評価する「目的適合性」の視点
- イ. 情報システムが業務活動を行う上で、いかに使い勝手の良い便利なツールとなっているかを評価する「利便性」の視点
- ウ. 情報システムが業務の遂行をいかにスムーズ、正確かつ無駄なく行えるかを評価する「有用性」の視点
- エ. 情報システムが持つ操作性、性能、機能性、拡張性等を評価する「品質特性」の視点
- オ. 情報システムが安定的に稼働し必要なときに使えるかを評価する「耐障害性」の視点

問題27 経営戦略の目標と情報化戦略におけるシステム構築のポイントとの関係性に関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．経営戦略の主な目標が、顧客の購買行動を把握することにある場合は、例えば、S o I (System of Insight) による顧客の購買行動を把握するためのシステムを構築する。
- イ．経営戦略の主な目標が、定型業務を自動化することにある場合は、例えば、R P A (ロボティック・プロセス・オートメーション) によってビジネスプロセスをデジタル化し、効率化と新たな価値の創造を実現するシステムを構築する。
- ウ．経営戦略の主な目標が、顧客と企業とのより高い関係性を構築することにある場合は、例えば、S o E (System of Engagement) によって企業と顧客が相互に情報を交換するためのシステムを構築する。
- エ．経営戦略の主な目標が、市場予測に迅速に対応することによって競合他社に対する競争優位の確立にある場合は、例えば、データ分析を活用して市場トレンドを予測システムを構築する。
- オ．経営戦略の主な目標が、業務効率の向上による生産性の向上やコストの削減にある場合は、例えば、業務プロセスの自動化を図るシステムを構築する。

問題28 バランス・スコアカードの4つの視点を組織全体で効果的に統合するために必要な要素として最も適切なものは、次のうちどれか。

- ア．各視点に関連するK P I の相互連携と因果関係
- イ．経営層によるトップダウンの指示
- ウ．財務指標への重点的なフォーカス
- エ．顧客満足度に限定した評価システム
- オ．各部門の独立した目標設定

問題29 C O B I T の成熟度モデルに関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．成熟度は、1～5の5段階で表される。
- イ．成熟度3は、管理プロセスが文書化され、周知されていることを示す。
- ウ．成熟度2は、管理プロセスが標準的なパターンに従うようになることを示す。
- エ．管理プロセスごとに成熟度モデルを作成し、C O B I T の成熟度モデルを参照することが有効である。
- オ．成熟度評価は定期的の実施して成果を確認し、継続して管理レベルの向上に取り組む。

問題30 I T投資マネジメントの基本となる考え方に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア. I T投資マネジメントの対象は、新規投資のみに限定する。
- イ. I T投資効果の目標値については、システム部門が設定する。
- ウ. I T投資の評価単位は、システム開発単位とする。
- エ. I T投資と業務改革を両輪としてとらえる。
- オ. インフラ投資、人事経理などの支援業務やコンプライアンスへのI T投資もビジネス案件と同じ基準で評価する。

問題31 情報化の効果評価のためのモニタリング・コントロールにおける、モニタリングの対象となるプロセスに関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 経営戦略策定フェーズでは、重要目標達成指標（K G I）に対する重要業績評価指標（K P I）を設定し、モニタリング対象とする。
- イ. 情報化戦略策定フェーズでは、ビジネス活動とI T活動の両面からモニタリング項目を決定する。
- ウ. 情報化資源調達フェーズでは、I Tの調達先の選定とI T導入計画書の作成までがモニタリングの対象となる。
- エ. I Tソリューション導入フェーズでは、I T導入実行計画の経営戦略及び情報化戦略との整合性もモニタリング対象に含まれる。
- オ. I Tサービス活用フェーズでは、I T導入実行計画の進捗状況（コスト・品質・スケジュール）等がモニタリング対象となる。

問題32 情報セキュリティリスクに関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. ウイルス対策ソフトウェアを全てのコンピュータで有効にし、ウイルス定義を随時更新していても、新しく作成されたウイルスには感染することがある。
- イ. 無許可でインストールされたソフトウェアは、適切にアップデートされないリスクが高く、セキュリティホールとなるおそれがある。
- ウ. 万一のデータ喪失に対しては、定期的に別のハードディスク装置への複写又はディスクのミラーリングによる常時二重化のいずれかで対応することにした。
- エ. ソフトウェアのセキュリティアップデートは、機能や操作について不都合がなくても適用するのがよい。
- オ. 攻撃の対象になったWebサイトでは、利用者が正規のURLを入力したときでも、偽のWebサイトへ誘導され、ウイルス感染などの被害に遭うことがある。

問題33 企業の不祥事を防止するため、不正リスク対策の重要性が高まっているが、個人が不正行為に至る背景を機会、動機、正当化の3つの観点からモデル化したものとして不正のトライアングルがある。企業の対策について、不正のトライアングルを構成する3つの要素に分類した際の記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 定期的なモニタリングの実施は、「機会」への対策として有効である。
- イ. ワークライフバランスの推進は、「正当化」への対策として有効である。
- ウ. 社内規定の明文化は、「正当化」への対策として有効である。
- エ. 職務分掌の徹底は、「機会」への対策として有効である。
- オ. 風通しの良い職場環境作りは、「動機」への対策として有効である。

問題34 内部統制及びITへの対応に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 全社的統制とは、企業グループ内の様々な事業、組織、業務に広範な影響を及ぼす統制を指すもので、企業全体の内部統制の基盤である。
- イ. IT全社的統制とは、連結対象企業全体のITに関する内部統制が機能するように定めた方針や手続である。
- ウ. 業務処理統制とは、「業務プロセス」に対する統制であり、IT以外の人間系のプロセスに対して適用される。
- エ. IT全般統制とは、企業の業務を支援する情報システムの環境を実現するための統制活動をいい、開発、運用・保守、セキュリティ、外部委託等に適用される。
- オ. IT業務処理統制とは、ITシステムの中で会計につながる情報が、適正に処理、記録されるようにアプリケーションに対して適用される統制である。

問題35 個人情報取扱事業者に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 個人情報データベース等を事業の用に供している者であれば、取り扱う個人情報の数に関わらず、個人情報取扱事業者となる。
- イ. 取り扱っている個人情報が社内の従業員の個人情報だけであっても、個人情報データベース等を事業の用に供している者であれば個人情報取扱事業者となる。
- ウ. 個人情報取扱事業者は、個人データの取扱いを外部に委託する場合には、委託先において当該個人データに対する安全管理措置が適切に講じられるよう、必要かつ適切な監督をしなければならない。
- エ. 個人情報取扱事業者が個人情報を利用するに当たって特定する利用目的は、「事業に利用するため」「サービス向上のため」といったように、できるだけ平易な言葉で表現しなければならない。
- オ. NPO法人や自治会・町内会、同窓会、PTAのような非営利の活動を行っている団体も、個人情報データベース等を事業の用に供していれば個人情報取扱事業者となる。

問題36 情報セキュリティ管理策として「情報の分類」と「ラベル付け」を採用した場合の実施方法に関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．情報の機密性による分類は、開示された場合の影響の大きさによって定める。
- イ．情報のラベル付けは、紙やＣＤ－Ｒのような物理的な媒体にのみ可能である。
- ウ．秘密でない情報は、ラベル付けを省略する。
- エ．情報の分類体系は、情報を取り扱う全員に共有する。
- オ．時間の経過によって分類が変わる場合があることを考慮して取扱い手順を定める。

問題37 以下の＜アクセス権限表＞は、ある業務システムのアクセス権の設定を示したものである。下表の設定を原因とした障害は現時点で発生していないが、情報システムを適切に運用するために修正すべき設定として最も適切なものは、次のうちどれか。

＜アクセス権限表＞

付与対象 権限 グループ名	業務データファイル (業務データ)	アカウント情報 (設定データ)	ログファイル (ログデータ)
ログ管理者	なし	参照	参照・追加・ 変更・削除
アカウント管理者	なし	参照・追加・ 変更・削除	追加
業務システム利用者	参照・追加・ 変更・削除	参照	追加

※アカウント管理者は、ＩＤ、パスワード、アクセス権の管理を行う。

- ア．ログ管理者から、ログファイルの変更と削除の権限を削除する。
- イ．ログ管理者とアカウント管理者に、業務データの参照権限を追加する。
- ウ．アカウント管理者から、アカウント情報の変更と削除の権限を削除する。
- エ．アカウント管理者に、ログファイルの参照権限を追加する。
- オ．業務システム利用者、ログファイルの変更権限を追加する。

問題38 社員の入社時、協力会社との契約時に加え、異動、退職・契約終了者に関連する人的・組織的セキュリティ対策の実施例として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 社員には、退職後も雇用中と同様に守秘義務の継続を誓約させる。また、協力会社については、法人としての守秘義務契約に加え、契約に基づいて従事する要員についても従事中及び従事終了後の守秘義務に関する誓約を協力会社に求める。
- イ. 異動、退職・契約終了時には、社員・協力会社要員を問わず、業務上貸与した情報資産（情報機器や業務情報）を返却させる。ただし異動時は、規定で定められている場合は返却せずに異動先へ持参することを認める。
- ウ. 退職・契約終了時の情報資産（情報機器や業務情報）の返却は、貸与した部門の管理者が返却物がそろっているかどうかを確認し、記録を残すことによって完了する。
- エ. 退職・契約終了時には、本人が使用していたユーザーID、パスワードの全てを削除し、また共通ID・パスワードの場合は少なくともパスワードを変更する。本人がサーバー管理者であれば、管理者IDのパスワードも変更する。
- オ. 退職・契約終了時には、社員・協力会社要員を問わず、体制表、責任と権限に関する担当者表、連絡網や安否確認等の通信先等に登録した当該個人の氏名、個人の電話番号やメールアドレス等を削除し、これらの管理帳票を更新する。

問題39 COSO ERMフレームワーク（2017）における5つの構成要素と20の原則に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 原則「取締役会によるリスク監視を行う」は、構成要素「ガバナンスとカルチャー」に含まれる。
- イ. 原則「リスク選好を定義する」は、構成要素「戦略と目標設定」に含まれる。
- ウ. 原則「リスク、カルチャーおよびパフォーマンスについて報告する」は、構成要素「パフォーマンス」に含まれる。
- エ. 原則「全社的リスクマネジメントの改善を追求する」は、構成要素「レビューと修正」に含まれる。
- オ. 原則「リスク情報を伝達する」は、構成要素「情報、伝達および報告」に含まれる。

問題40 JIS Q 27001の情報セキュリティマネジメントに関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 情報セキュリティについての方針では、組織の全般的な方向性に沿って定量的な目標を示し、その達成方法及び役割と責任を示し、その実行を外部等に表明する。
- イ. 情報セキュリティマネジメントでは、計画－実施－監視－改善のPDCAサイクルの活動からなる組織の取組を定める。
- ウ. 情報セキュリティマネジメントの計画策定においては、リスク分析・評価と対応についての方法を決定して、それらを手順化する。
- エ. 情報セキュリティマネジメントの運用の活動では、定期的及び変化が生じる時にリスク分析・評価を実施し、必要なリスク対応計画を実施する。
- オ. 情報セキュリティマネジメントの監視の活動では、運用状況を監視・測定して有効性を評価し、改善の活動ではその評価結果を計画にフィードバックする。